会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和４年度職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業（２）教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第2回運営委員会 |
| 開催日時 | 令和4年10月17日（火）　14時00分～17時00分 |
| 場所 | リファレンス駅東ビル貸会議室 |
| 出席者 | 事業責任者：高岡　信吾委員対面　：岡村　慎一、成底　敏、柳田　祐大、泉田　優、猪俣　昇、小田　政江、藤井　達也、松田　義弘、山根　大助、八木　信幸、氏部　正（OL）、山田典弘（OL）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計13名請負業者　：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　 計1名合計14名 |
| 議題等 | 〇知識系分野学習用動画コンテンツの追加（成底）・本年度開発予定の知識分野学習用の動画コンテンツの開発状況はそれぞれこんな感じになっています。1. 情報公開の必要性は、日本電子の事例紹介的な内容を検討しているところですが、日本電子自体が大学法人になったことから難しい状況です。
2. 職業教育のマネジメントの有用性は、三菱総研に相談し、久保寺さんにお願いすることとなりました。
3. 私立学校法改正について文科省私学行政課滝波課長に依頼済です。しかし、法案審議状況次第で難しいことも考えられます。

・情報公開と私立学校法に関しては何か対策が必要ですね。（高岡）・情報公開に関しては、次回までにいくつかあたってみたいと思いますが、私立学校法は、私共では何ともしがたい状況です。ただ、状況は厳しいと思います。（成底）・私立学校法について法案審議がなされない場合にはどのように対応しましょうか（岡村）・文科省の課長という立場なので、一旦はお願いを取り下げて、法案の状況や運用の状況等を見ながら、新たにお願いしていくことが良いと思っています。（成底）・動画の開発スケジュールはどうなってますか（泉田）・動画撮影や編集等について予算は計上しています。三菱総研さんは自社もしくは久保寺さんご自身で収録されるのではないかと思っています。情報公開と私立学校法に関しては決まっていないので何とも難しいところです。いずれにしてもe-learningの運用の件もありますので相手先が確定しだい早めに着手していきます。（飯塚）〇セミナー開催（成底）・Slack上にも案内文を出させていただきましたが、今回は情報公開セミナーと職業教育マネジメントセミナーを連続してやる計画にいたします。またセミナーの名称も学校運営管理責任者向けセミナーとして、これら２つのテーマで開催したいと思います。・また、当初は東京のみでの開催を予定していましたが、東京に加えて福岡でも開催したいと思います。・日程的には　東京会場　令和4年11月28日（月）13：00～17：00　　令和4年11月29日（火）9：00～12：00　福岡会場　　令和5年1月23日（月）13：00～17：00　　令和5年1月24日（火）9：00～12：00とし、初日に情報公開セミナー、2日目に職業教育のマネジメントセミナーを開催することといたします。・情報公開セミナーの内容は、3本のテーマとグループワークを考えています。「情報公開の現状と今後の展望（仮題）」について岡村さんお願いします。「カリキュラムブック作成への取り組み（仮題）」は龍馬学園さんにお願いします。「学校情報の周知への取り組み（仮題）」および「学校特性や地域特性における学生の成長変化について（仮題）」はYIC学院さんにお願いします。・職業教育マネジメントセミナーの内容は、　第1部として「職業教育のマネジメントにおける情報収集・活用の重要性」を三菱総研久保寺様にご発表いただきます。第2部として「職業教育マネジメントの取り組み事例」と「職業教育マネジメント構築へ至るプロセスと課題」を学校法人小山学園　白井校長にお願いします。　第3部として「私立学校法改正について」を全専各連の菊田参与にお願いしています。・また、ご挨拶として川崎会長と文部科学省の船木室長補佐にご依頼をいたしました。・定員は30名。・詳細はお手元の資料で確認してください。いかがでしょうか？・情報公開セミナーのＹＩＣ学院担当分は、私小田が担当します。ベネッセさんなどとチャレンジしている成長の見える化等の話と当校が行っている学校情報の周知方法等を説明する予定です。（小田）・当校が行っているカリキュラムブックに関する取り組みについては、当校の松村に発表させます。（泉田）・皆様の了解が得られれば、近々に案内を発送させていただきたいと思います。（成底）・全専各連は、開催案内ができしだいHPから募集のお手伝いをさせていただきます。（藤井）〇e-learningマネジメントシステムの構築（猪俣）・e-learningの開発については、安価な費用での実施を考えているためLMSについては、新規開発ではなくありものを借りる方向で検討したいと思います。・1つのコンテンツが5～15分程度となると思いますので、確認テストは3～5題程度と考えています。問題はシャッフルして出そうと思います。・開発等の予定はお手元の資料通りとなります。近日中にテスト運用を開始したいと考えています。・本日、修了テストの案として問題を100題ほど準備いたしました。お手元に配流させていただきますので、本日はお持ち帰りいただき、内容の確認をお願いいたします。（柳田）・令和3年度に10本のコンテンツを作成しましたので、こちらから先に登録し、テスト稼働をすることで考えております。（成底）〇申請業務効率化アプリ開発（猪俣）・10月6日に成底さん、飯塚さんにご参加いただきオンラインで事前ミーティングを行いました。その中でいくつかの観点が出てきましたので本日は簡単なペーパーを作らせていただきました。対象は、職業実践課程申請、修学支援新制度ことネイティブアプリとして提供すること出力はExcelやWordとすること11月上旬までには具体的な仕様を作成することアプリを利用するための動画マニュアルを作成することが、確認されました。　内容に関して、また対象となる制度の様式などについてご意見があれば、Slack上で共有をお願いします。 |
| 配布資料 | ・第2回運営委員会資料・学校運営管理者セミナー開催案内案・修了テスト案・申請業務効率化アプリ仕様案 |

以上